

報告日 令和8年1月21日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鹿児島市			代表者名	下鶴 隆央
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	デジタル戦略推進課	連絡先電話番号	099-216-1115
担当者役職	主査	担当者氏名	瀬田 修平	連絡先E-mail	
住所	892-8677 鹿児島県鹿児島市山下町11番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	職員による業務デジタル化促進事業
概要	鹿児島市では、各分野でのデジタル活用を推進すべく、各課からDX推進リーダーを、各部からDX推進グループリーダーを選任し、研修等を実施しているところであるが、より実効的なデジタル人材育成の方向性を整理したいと考えており、アドバイザーの知見に基づく助言・提言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月16日	支援・助言(実地)	14時00分	17時00分	
2-2. 派遣場所	会場名	鹿児島市役所		最寄駅	鹿児島中央駅
	所在地	鹿児島県鹿児島市山下町11番1号		最寄駅からの交通手段	鹿児島市電又は市営・民営バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石塚 清香
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようにところがよかったか等詳細に）	・豊富な行政での経験や支援実績に基づき、他都市等での取り組み実態を示しながら、職員が内容を理解しやすい・受け入れやすいよう工夫した形で、意見や指摘等いただけたため。 ・特に、行政や行政職員が陥りがちな状況・問題点についての理解が深く、説得力のある言葉での指摘や、より本質的な見方を促すアドバイスをいただけたため。 ・情報化アドバイザーとしての支援であったものの、デジタルは手段の1つにすぎないというより高位の視点・広い視野から、職員の人材育成や、そのためのマインド・組織づくりについて、意義深い意見がいただけたため。
アドバイザーへの要望事項	・特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	6人
	属性	自治体職員		
	人数	6		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	（現況） ・各課からDX推進リーダーを、各部からDX推進グループリーダーを毎年度選任し、研修等を実施している。 ・令和7年3月に「鹿児島市人材育成基本計画」にDX推進リーダー等を位置づけデジタル人材活用を標榜したが、具体的な取り扱い等については整理されていない状況である。 (課題) ・デジタル人材育成の具体的な方向性や、その推進体制、育成した人材の活用法（どうやって具体的なデジタル活用に繋げるか等）の整理が難しく、具体イメージを持っていない状況。
---------------------------	---

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<p>(目指す成果) 令和8年度のDX推進リーダー等の選任や研修予定の作成に向け、その内容がより有効なものとなるよう、デジタル人材育成やデジタル活用の促進に関し、本市の取組状況等を説明したうえで、その方向性等に指摘をいただき、持つべき観点や見直すべき点や、有効な意見等をいただくこと。</p> <p>(長期的に目指す姿) 人材育成の取組の方向性を整理したうえで、体制構築のために戦略的なDX推進リーダー等選任を行い、第二期DX推進計画の終了期間（令和14年3月）までを目途に、デジタル人材の育成方針が十分に機能し、各部署で住民利便性向上にむけた具体施策が実施される状況をつくりだすこと。</p>
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<p>本市のデジタル人材育成について、我々職員だけでは持ち得なかった外部の目線・アドバイザーの知見・経験からのアドバイス・提案等いただいた。</p> <p>(アドバイス・提案等の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何のために研修を行うのか再確認するという発想を持つべき、何を達成したいから、どういう効果を見込みその取り組みをするのか（目的と現状についての認識の整理） ・本当にこれからの自治体に必要な人材は、状況の変化や課題をキャッチアップし、変えていくトランスフォーメーション人材なのでは⇒デジタル担当部署であるためやむを得ない面はあるが、デジタルという手段にとらわれすぎた育成方針・研修構成となっていないか ・本当に必要な人材・るべき職員像を考えると、人事や行政管理、行政推進、データ利活用等の部署との連携が必要になる、部局割等があつて大変だが、そこから考えるのが望ましい ・デジタルで代わることでできない、人でないとできないスキルとしてはファシリテーションのスキルが基礎になる、特にデジタル化を進めていきたいという狙いがあるなら、職場の管理職にはもちろん、推進を期待する役割を担う人材には大変役立つ ・どの職の人にどういった役割を期待するのかを整理すれば、育成方針も見えてくる、基本的な考え方としてIPAのDXリテラシー標準（マインド・スタンス、Why、What、How）などを意識してはどうか、DX推進リーダー等についても具体的に何を期待するのか整理し、示していく必要があるので ・スキルの習熟のためには実践あるのみ、受けただけで終わらせないという仕組みが必要 ・ツールの研修をする際にも、それを使えばどうなるのか・どんな効果が出ているのか、数字等の事実ベースで職員に伝えるとともに、苦手としている職員には身近なものとしてイメージさせる工夫が必要
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・本市のデジタル人材育成やDX推進の取組について、様々な角度、レベル感でのご指摘等いただけたため、外部の目線から有効な意見等をいただくという今回の支援の趣旨に則した、十分な成果が得られた。 ・アドバイザーからいただいた意見等について、その内容や趣旨・発想等を、本市内部で十分に咀嚼したうえで、これから行っていく研修計画の策定や研修意義や目的の発信の工夫、より根本的な育成方向性の検討等に反映し、本市デジタル人材の在り方の整理と、取組への職員理解の向上と気運醸成に繋げて
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> 途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>(令和8年6月頃のDX推進リーダー等の選任時の通知内容・令和8年度研修カリキュラム)</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケート無し：デジタル戦略推進課職員（DX推進部長含む）と意見交換を行う支援であり、アンケートを行う類の支援ではなかったため。</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある</p> <p>令和8年6月頃のDX推進リーダー等の選任に向け、研修カリキュラムの整理・見直しを進める。</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本市デジタル人材育成の取組が、本市の各分野でのDXを促す内容となり、具体的なデジタル施策を実現させることで、住民が生活の各シーンでさらなる利便性向上を実感できるようにし、住民の幸福度向上に繋げること。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 ○掲載可

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

